

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 特 許 公 報 (B 2)

(11) 特許番号

特許第3461478号
(P3461478)

(45) 発行日 平成15年10月27日 (2003. 10. 27)

(24) 登録日 平成15年 8 月15日 (2003. 8. 15)

(51) Int.Cl.⁷

識別記号

F I

G 0 9 B 27/00

G 0 9 B 27/00

B

請求項の数 3 (全 6 頁)

(21) 出願番号 特願平11-318165

(22) 出願日 平成11年11月 9 日 (1999. 11. 9)

(65) 公開番号 特開2001-134172(P2001-134172A)

(43) 公開日 平成13年 5 月18日 (2001. 5. 18)

審査請求日 平成14年 2 月18日 (2002. 2. 18)

(73) 特許権者 599154906

大平 貴之

神奈川県川崎市多摩区南生田 2-18-25

(72) 発明者 大平 貴之

神奈川県川崎市多摩区南生田 2-18-25

(74) 代理人 100075144

弁理士 井ノ口 壽

審査官 松川 直樹

(56) 参考文献 特開 平 8-171344 (J P , A)

特開 平10-161529 (J P , A)

特開 平10-123939 (J P , A)

(58) 調査した分野(Int.Cl.⁷ , D B名)

G09B 27/00 - 27/08

(54) 【発明の名称】 プラネタリウムにおける星空の分割投映方法

1

(57) 【特許請求の範囲】

【請求項 1】 複数の投映ユニット手段によって略半球状のドーム内壁面に恒星およびその他の天体を含む星空を分割投映して全天を完成させるプラネタリウムにおける星空の分割投映方法において、

各投映ユニット手段は各投映原板を相互に隣合う分割投映領域の境界付近が重複するように投映して境界領域を形成し、

前記境界領域には相互に隣合う分割投映領域に投映する投映ユニット手段がそれぞれ所定の割合の数になるよう

に天体を投映することを特徴とするプラネタリウムにおける星空の分割投映方法。

【請求項 2】 前記境界領域のどの位置に天体が存在するかによって前記割合を決定することを特徴とする請求項 1 記載のプラネタリウムにおける星空の分割投映方

2

法。

【請求項 3】 前記境界領域に存在する天体の位置が、他方の投映ユニット手段が投映する領域より近い場合、近い側の投映ユニット手段が、重複する領域に存在する天体を投映する割合を大きくしたことを特徴とする請求項 2 記載のプラネタリウムにおける星空の分割投映方法。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】 本発明は、プラネタリウムにおいて恒星、天の川、星雲、星団などの天体（以降、「星」と総称する）を投映する方法に関する。

【0002】

【従来の技術】 プラネタリウム装置では、実際の星空に存在する恒星のうち、ある一定の明るさより明るいもの

10